



2021年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年6月9日

上場会社名 くら寿司株式会社
コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 津田 京一

TEL 072-493-6189

四半期報告書提出予定日 2021年6月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の連結業績(2020年11月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	74,584	14.1	304		1,185		668	
2020年10月期第2四半期	65,342	1.6	491		86		959	

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 656百万円 (%) 2020年10月期第2四半期 768百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	16.89	16.83
2020年10月期第2四半期	24.28	

(注) 当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	87,117	47,920	51.2
2020年10月期	85,102	47,569	51.9

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 44,575百万円 2020年10月期 44,138百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期		0.00		40.00	40.00
2021年10月期		0.00			
2021年10月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年10月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2021年10月期の連結業績予想(2020年11月1日～2021年10月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が不透明な中で、業績予想の合理的な判断が困難であることから、2021年10月期の連結業績予想を未定とさせていただきます。今後、合理的な判断が可能となった時点で改めて公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年10月期2Q	41,399,600 株	2020年10月期	41,399,600 株
期末自己株式数	2021年10月期2Q	1,740,430 株	2020年10月期	1,853,620 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年10月期2Q	39,584,662 株	2020年10月期2Q	39,506,044 株

(注)当社は、2021年5月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年11月1日から2021年4月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な拡大により経済活動は停滞し、景気の悪化が長期化しております。

外食産業におきましては、政府による外食支援策「Go To Eat」による一時的な需要創出もありましたが、2021年1月、2021年4月に緊急事態宣言が再発出され、飲食店に対する営業時間の短縮要請や、消費者の外出自粛による来店客数の減少など、引き続き厳しい状況となりました。

このような状況のもと、当社グループはお客様と従業員の安全を第一に考え、感染拡大を防止するための様々な取り組みとして、入店から退店までお客様が従業員と接することなく飲食できるセルフ会計やセルフレジなどを備えた「スマートくら寿司」への投資を継続いたしました。

店舗開発につきましては、国内18店舗、米国5店舗、台湾5店舗の計28店舗を出店いたしました。新型コロナウイルス感染症の収束後をにらみ、強固な財務基盤のもと、日本、米国、台湾で積極的な出店を継続しました。

当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、全て直営で549店舗(「無添蔵」4店舗、「くら天然魚市場」1店舗、米国30店舗、台湾34店舗を含む)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は過去最高となる745億84百万円となりました。経常利益は11億85百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億68百万円となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間より従来の飲食事業の単一セグメントから「日本」「北米」「アジア」の3区分に変更しております。前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該報告セグメントの区分に基づき変更したものを記載しております。

セグメント業績は次の通りであります。

①日本

2度にわたる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用により、約7割の店舗が営業時間の短縮による影響を受けるなど、厳しい事業環境が続きました。2021年3月にはそのような状況のもと、「スマートくら寿司」などの感染症対策への高い評価もあり、既存店売上高が新型コロナウイルス感染症拡大前の2019年3月度売上高を上回るなど多くのお客様にご来店いただきました。この結果売上高は670億29百万円(前年同期比15.9%増)、経常利益18億66百万円となり当該連結会計期間の日本における売上高は過去最高を更新いたしました。

②北米

米国子会社(KSU)におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、米国展開する30店舗の半分の15店舗を展開するカリフォルニア州において2021年2月まで店内飲食が禁止されるなど非常に厳しい営業規制の影響を受けました。この結果売上高19億36百万円(前年同期比51.7%減)、経常損失10億64百万円となりました。

なお、2021年3月以降につきましては米国内のワクチン接種率向上に伴い、レストラン営業規制の緩和、解除が進み、経営状況は急速に改善しております。

③アジア

台湾子会社(KSA)におきましては、当第2四半期連結累計期間中新型コロナウイルス感染症の影響は見られず、売上高56億18百万円(前年同期比60.2%増)、経常利益3億82百万円と過去最高の売上高を更新しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は、871億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して20億15百万円の増加となりました。これは、主に現金及び預金が50億22百万円減少した一方で、有形固定資産が59億79百万円、差入保証金が4億16百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して16億63百万円増加し、391億97百万円となりました。これは、主にリース債務が29億82百万円増加した一方で、買掛金が6億26百万円、未払金が3億83百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、主に親会社株主に帰属する四半期純利益が6億68百万円を計上したこと等により、前連結会計年度末と比較して3億51百万円増加し、479億20百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが13億85百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが48億26百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが19億80百万円の支出となりました。この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)残高は、期首より50億22百万円減少し、155億88百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は13億85百万円(前年同期は7億34百万円の支出)となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益が11億38百万円となり、減価償却費が29億99百万円あった一方で、仕入債務の減少が6億51百万円、未払消費税等の減少が16億5百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は48億26百万円(前年同期比3.6%増)となりました。これは有形固定資産の取得による支出が39億70百万円、貸付けによる支出が2億45百万円、差入保証金の差入による支出が4億12百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は19億80百万円(前年同期比5.7%増)となりました。これは、リース債務の返済による支出が12億62百万円、配当金の支払が7億89百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症が国内外で拡大し、現時点では収束時期の見通しが立たず、今後の内外需要動向や人的移動、営業規制等の実施が当社グループに与える影響が不透明であることから、業績予想の合理的な判断が困難となっております。よって、2021年10月期の通期連結業績予想を未定とさせていただきます。

今後の動向を見極め、合理的な判断が可能となった時点で改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,611	15,588
売掛金	3,854	3,392
原材料及び貯蔵品	1,715	1,553
その他	1,977	2,816
流動資産合計	28,158	23,351
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	21,328	23,591
使用権資産(純額)	9,706	12,106
その他(純額)	14,259	15,575
有形固定資産合計	45,293	51,273
無形固定資産	705	833
投資その他の資産		
長期貸付金	4,428	4,492
差入保証金	5,411	5,827
その他	1,105	1,340
投資その他の資産合計	10,945	11,660
固定資産合計	56,944	63,766
資産合計	85,102	87,117
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,509	5,883
未払金	6,798	6,415
未払法人税等	1,564	2,321
その他	7,711	6,409
流動負債合計	22,584	21,029
固定負債		
リース債務	12,356	15,339
資産除去債務	2,093	2,239
その他	499	588
固定負債合計	14,948	18,167
負債合計	37,533	39,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	5,183	5,381
利益剰余金	39,203	39,081
自己株式	△2,280	△2,139
株主資本合計	44,111	44,329
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26	246
その他の包括利益累計額合計	26	246
新株予約権	190	250
非支配株主持分	3,239	3,094
純資産合計	47,569	47,920
負債純資産合計	85,102	87,117

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
売上高	65,342	74,584
売上原価	29,658	33,719
売上総利益	35,683	40,865
販売費及び一般管理費	36,175	40,561
営業利益又は営業損失(△)	△491	304
営業外収益		
受取利息	73	28
受取手数料	202	219
為替差益	43	127
物販収入	52	35
助成金収入	—	581
雑収入	122	43
営業外収益合計	493	1,036
営業外費用		
支払利息	51	74
物販原価	25	21
雑損失	11	59
営業外費用合計	88	155
経常利益又は経常損失(△)	△86	1,185
特別利益		
新株予約権戻入益	80	—
特別利益合計	80	—
特別損失		
固定資産除却損	46	46
減損損失	377	—
特別損失合計	423	46
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△429	1,138
法人税、住民税及び事業税	72	797
法人税等調整額	526	9
法人税等合計	599	806
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,028	332
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△69	△336
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△959	668

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,028	332
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	260	324
その他の包括利益合計	260	324
四半期包括利益	△768	656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△785	888
非支配株主に係る四半期包括利益	16	△231

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△429	1,138
減価償却費	2,552	2,999
減損損失	377	—
受取利息	△73	△28
支払利息	51	74
助成金収入	—	△581
新株予約権戻入益	△80	—
たな卸資産の増減額(△は増加)	△178	166
売上債権の増減額(△は増加)	689	479
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,807	△651
未払消費税等の増減額(△は減少)	499	△1,605
その他	△1,295	△1,029
小計	305	963
利息の受取額	49	6
利息の支払額	△51	△74
助成金の受取額	—	581
法人税等の支払額	△1,037	△90
営業活動によるキャッシュ・フロー	△734	1,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,958	△3,970
無形固定資産の取得による支出	△78	△192
貸付けによる支出	△313	△245
差入保証金の差入による支出	△286	△412
差入保証金の回収による収入	39	26
その他	△59	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,656	△4,826
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,086	△1,262
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△787	△789
ストックオプションの行使による収入	—	70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,873	△1,980
現金及び現金同等物に係る換算差額	259	398
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,005	△5,022
現金及び現金同等物の期首残高	20,965	20,611
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,960	15,588

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年11月1日至2020年4月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	57,827	4,008	3,505	65,342	65,342
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	57,827	4,008	3,505	65,342	65,342
セグメント利益又は 損失(△)	148	△144	△89	△86	△86

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年11月1日至2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	日本	北米	アジア	計	
売上高					
外部顧客への売上高	67,029	1,936	5,618	74,584	74,584
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	67,029	1,936	5,618	74,584	74,584
セグメント利益又は 損失(△)	1,866	△1,064	382	1,185	1,185

(注)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益又は経常損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来より飲食事業のみの単一セグメントとしておりましたが、2019年8月に米国子会社「Kura Sushi USA, Inc.」、2020年9月に台湾子会社「亞洲藏壽司股份有限公司」がそれぞれ現地証券取引所に上場したことにより、海外における新規出店及び店舗の管理体制が順次強化されたため、当第2四半期連結会計期間より、単一セグメントから「日本」、「北米」、「アジア」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2021年3月18日開催の取締役会決議に基づき、2021年5月1日付で株式分割を行っております。

(1) 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

① 分割の方法

2021年4月30日最終の株主名簿に記載された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたします。

② 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	20,699,800株
株式分割により増加する株式数	20,699,800株
株式分割後の発行済株式総数	41,399,600株
株式分割後の発行可能株式総数	160,000,000株

③ 分割の日程

基準日公告日	2021年4月14日
基準日	2021年4月30日
効力発生日	2021年5月1日

④ 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、サマリー情報の「1株当たり四半期純利益」に反映しております。